

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和7年 5月 7日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
株式会社近鉄百貨店  
代表取締役社長執行役員 梶間 隆弘

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、  
[ 事業者行動計画を策定 (変更) ]  
[ 事業者行動報告書を作成 ] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社近鉄百貨店 代表取締役社長執行役員 梶間 隆弘
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社近鉄百貨店 草津店								
事業所の所在地	滋賀県草津市渋川1-1-50								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	5	6	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 百貨店			
事業の概要	百貨店業								
従業員の数	212	人	作業時間	11 (10時から21時)	時間/日				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	3	台	照明設備	約6,000	台
	コンプレッサ	約260	台	空気調和設備	12	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和6	年度	報告対象年度	令和6	年度
	終了年度	令和10	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

## ■近鉄百貨店 ESG方針

## 地球環境への貢献

環境に配慮した事業活動とサプライチェーンマネジメントを通じて、地球環境の保全に取り組みます

## I. 温室効果ガス排出量削減

- ・温室効果ガス排出量50%削減／2015年比(2030年)
- ・温室効果ガス排出量ゼロ化(2050年)

## II. サプライチェーン全体のマネジメント

- ・お取引先の行動原則を策定、浸透(2024年)
- ・オリジナル容器包装の50%を環境配慮型包装資材へ切替(2030年)

## III. 食品ロスの削減

- ・食品廃棄物排出量20%削減／2019年比(2030年)
- ・食品リサイクル50%の実現(2030年)

## 2 取組の推進体制

## ESG推進委員会規程

(目的) 第1条 当委員会は、ESG(環境・社会・ガバナンス)の取組みを強化し、当社および当社グループが、「SDGs(持続可能な開発目標)」に定められている17の目標を指標として、持続可能な社会の実現を目指した企業経営を行うため、諸施策の策定および推進を図ることを目的とする。

(組織) 第2条 本委員会に委員長、副委員長および委員を置く。

② 委員長は社長執行役員とし、委員は専務執行役員および常務執行役員とする。

③ 副委員長は委員の中から委員長がこれを任命する。

(職務) 第3条 委員長は本委員会を統轄し、必要に応じてこれを招集する。

② 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代行する。

(開催) 第4条 本委員会は、原則として1年に1回開催する。

② 前項にかかわらず、委員長は、必要と認めるときに随時本委員会を招集することができる。

(ワーキンググループ) 第5条 本委員会は必要に応じ、ワーキンググループを置くことができる。

② ワーキンググループの構成員は委員長が指名する。

(その他) 第6条 委員長は、必要に応じ委員以外の者を本委員会に出席させることができる。

(事務局) 第7条 本委員会の事務局は、総務本部広報・ESG推進部が担当する

3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

## ●(H28年度)

建物内の後方通路やお客様用駐車場照明のLED化(店計698灯)

電力使用量182千kwh/年、温室効果ガス排出量93t-CO<sub>2</sub>の削減

## ●(H30年度)

(4月) 1階店舗照明のLED化(524台)電力使用量117千kwh/年の削減

(10月) 3~8階店舗照明のLED化(1,322台)電力使用量197千kwh/年の削減

## ●(H31年度)

(4月) 3階・4階店舗照明のLED化(1,042台)電力使用量317千kwh/年の削減

(2月) 2階店舗照明のLEDD化(992台)電力使用量202千kwh/年の削減

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	従業員の冷房温度を弱める活動の実施	令和6～9年度	継続実施中
2	運用改善	ノー上着および一部部門でのノーネクタイによる「クールビズ」の推進	令和6～9年度	2024.11より勤務時の服装の自由化実施
3	運用改善	従業員用エレベーターの停止(1台)	令和6～9年度	継続実施中
4	運用改善	店内冷暖房の効率的な稼働	令和6～9年度	継続実施中
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記(1)の取り組み等により、エネルギー使用量のR5年度実績からの削減を目指す。	令和6年度については、新規にレストラン1店舗が開業したこと、夏季の厳しい暑さが長く続いた影響でガス・電気の使用量が増加した

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,620	1,754			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	2,687	3,259	0	0	0
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	2,687	3,259			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0			
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>					
HFCs	t-CO <sub>2</sub>					
PFCs	t-CO <sub>2</sub>					
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
エネルギー等原単位の推移		4,083,200	4,108,400			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>						
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh						
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>						
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>						
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	人の移動の 抑制	・本社(大阪)で実施される会議・研修への WEB参加	R5~	予定通り実施
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
保有車輛の数	台	7	7			
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0	0			
特記事項						

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	マザーレイク ゴールズ(ML Gs)の取組	店内のイベントスペースにて、MLGs関連のパネル展示 や、地産地消の取組みを実施	通年	・6/1~7/2MDGsパネル展、 7/10~16琵琶湖博物館環境 学習イベント、地場産品の販売
2	3R	衣料品回収プロジェクト「次へ活かす服」 不要になった衣料品を回収し、協力会社を通して東南ア ジアの孤児院や養護学校などへ寄付	通年	令和6年度回収実績 154名、754枚
3				
4				
5				